市議会だより

No.147

2013.8.25



ご挨拶

各位のご推挙により、議長・副議長に就任いたしました。 平成二十五年第三回中間市議会臨時会におきまして、 議員

引き締まる思いであります。 身に余る光栄であり、改めてその責任の重さを痛感し、身の

中間市議会へと生まれ変わりました。 の皆さまに信を問うために、六月七日に自主解散をいたしました。 いて、議会としてチェック機能を十分に果たせなかったとして、市民 そして、今回選挙によって市民の皆さまの負託を受けた、新たな 中間市議会では、市職員による生活保護費不正受給事件にお

これからは、事件の真相究明と再発防止に向けた取り組みを

たいと考えています。 し協力を賜りますようお願いたします。 市民の皆さまには、市議会の活動について、より一層のご理解と

植 堀 本 田 英 種 實 雄

副議長 議 長

0 9 8 4		■6月定例会と7月臨時会で	■委員会報告 9	■一般質問5~8	■議会日誌 4	
---------	--	---------------	----------	----------	---------	--

- 110
- ② 東中間二丁目 16番8号
- ③ 中間クラブ



①5回 ② 垣生 9 組 1

3

oxplus

善

大

25

歳

7

oxplus

澄

雄

63 歳

11

悟

60

歳

③ 中間クラブ



- 1 8 🗆
- ② 長津一丁目 12番3号
- ③ 福祉クラブ

1 当選回数 2 住所 3 所属会派

1

堀

 \blacksquare

英

雄

78 歳

5

宮

下

寬

71 歳

9

歳

※議席番号順

4

小

林

信

63 歳

8

掛

 \blacksquare

るみ子

54 歳



- 1 2 🗆
- ② 通谷一丁目 14番 35号
- ③ 日本共産党



- 1 5 🗆
- ② 通谷二丁目 35 番 23 号
- ③ 日本共産党



1 6 🗆

10

中

尾

淳

子

66

歳

- ② 垣生 239 番地
- ③ 日本共産党



- 1 1 🗆
- ② 土手ノ内一丁目 33番7号
- ③ 中間クラブ



- 170
- ② 浄花町 7番 16号
- ③ 福祉クラブ



- ① 3 🗆
- ②扇ケ浦三丁目1番15号

莀業委員会委員

③ 公明党



- ① 3 🗆
- ② 土手ノ内一丁目 26 番 7 号
- ③ 公明党



- 1 4 🗆
- ② 中央三丁目 24番 10号

遠賀中間地域広域行政

事務組合議会議員

③ 公明党

監査委員

Ш 本 慎

悟

原 \blacksquare

隆

博 寛

下 JII

俊

秀

Ш 晴 慎

> 悟 雄

堀

 \blacksquare

英

議会議員 中間市行橋市競艇組合

 \blacksquare 澄

秀 雄







① 3回

- ② 上底井野 1663 番地
- ③ 新創会



1 2 🗆

15

田

博

51歳

19

米

満

彦

71 歳

- ② 土手ノ内二丁目 25 番 15 号
- ③ 自由民主党勝友会



①3回

14

中

野

勝

寬

39 歳

- ② 弥生一丁目 1 番 35 号
- ③ 福祉クラブ



13

安

oxplus

明

美

66 歳

17

井

上

太

62 歳

③ 福祉クラブ



1 4 🗆

- ② 中尾二丁目 2番 10号



1 6 🗆

- ② 通谷二丁目3番6号
- ③ 自民党中間市議団



- ①5回
- ② 鍋山町 1番 1号
- ③ 自民党中間市議団

常

任

委

員

会



- ①7回
- ② 垣生 34 組
- ③ 新創会



①4回

② 岩瀬二丁目3番18号

議

長

堀

 \blacksquare

英

雄

③ 新創会

16 下 Ш 俊 秀

12

佐々木

晴

55 歳

61 歳

田小中

委員長 下 川 本 林 野 澄 慎

るみ 悟 雄 寬 秀

 \blacksquare 川 木 \blacksquare

澄 晴

会 運 営 委

員

会

副 議長 植 本

種 實 正 副

議

長



原

 \blacksquare 堀 宮 出 木 \blacksquare \blacksquare 誠 隆 英 満

大 雄 寛 博 彦

防委

安 青 植 \blacksquare 本木 淳 明 太

> 實 子

一 子

美

3 Shigikaidayori NAKAMA

議

誌

2013

中間市立病院を考える特別委員会行政視察(佐賀県武雄市) 9~10日

5月

和歌山県有田市議会 文教厚生委員会行政視察来市 15 ⊟

議会運営委員会/編集委員会 17 ⊟

全国市議会議長会定期総会(東京都千代田区) 22 ⊟

中間市行橋市競艇組合議会 24 ⊟

代表者会議/議会運営委員会 30 H

2013 6月

4~7⊟ 平成25年6月中間市議会定例会

4 ⊟

本会議 全員協議会 5 ⊟

議会運営委員会/本会議 6 ⊟

本会議 【中間市議会自主解散】 7 A

2013

14 ⊟ 中間市議会議員選挙

17·19·22 FI 代表者会議

25 ~ 31 ⊟ 平成25年7月中間市議会臨時会

> 本会議 25 ⊟

総合政策委員会/産業消防委員会 26 ⊟

総合政策委員会/産業消防委員会 29 ⊟

/ 代表者会議



て、佐々木晴一議員 七日の本会議におい

中間市議会は六月

より市議会の解散を

本会議 31 ⊟

いものがある。

選挙で選ばれた市

市長と議会ともに重

外にない。 で市民に信を問う以

会を自主解散するこ

とができる。

任の取り方は、選挙 長と市議会議員の責

ある。 失墜させた責任は、 市民の信頼を地に

地方公共団体の議会の ※根拠法令

解散に関する特例法 者が賛成すれば、議 その五分の四以上の 以上の者が出席し、 議員数の四分の三

反対した議員

下市長にあることは は、トップである松 不正受給事件の責任

> 井米下古原藤安山堀片中植 上満川野田本田本田 野本 出 俊嘉隆利明慎英誠勝 - 彦 秀 久 博 彦 美 悟 雄

票、反対三票(退席三 行った結果、賛成十三 れ、記名投票で採決を 求める動議が提出さ 解散について中間市議会の自主

賛成した議員

,議席番号 順

順

もチェック機能を果 と同格である市議会 間違いないが、市長

田青宮

口木下

澄孝

雄子

寛

以上三名

かった失態は明白で たすことができな

上十三名

動議の趣旨

今回の生活保護費

は即日解散しました。

人)で可決し、市議会

田]澄雄議[(日本共産党)

下げが実施された場合 の影響緩和策について 生活保護費の基準引き 県民税の課税最低所 得の金額は。 が下がった場合、市 生活保護の基準額

課税課長 は、詳細はわかって いません。 介護保険の保険 現時点で 議員

す。

就学援助の対

したいと考えていま を図りながら、対応

があった場合の適用 料の減免は生活保護 すが、八月から生活 基準額の一・三倍で 保護基準の引き下げ

予定しています。 が下がったために、 になった場合の保険 本人非課税でランク 市県民税が、今まで 、二、三の人が、本 (課税にかわって五 生活保護の基準 議員

介護保険課長 五千九百九十八円で 月額で

市長

検討したいと考

、統一すべきでは。

月当たり三千六百四 触れてこういう問題 も上がるので、折に については横のつな 一番多い人で一 えています。

がり、縦のつながり ついて 減免の通院への拡大に 国民健康保険の医療費

の窓口 場合の適用は。 の引き下げがあった 医療費の が、生活保護の基準 のみ減免制度がある 围]民健 減免は、入院 一部負担金 康保険

市長 本市だけの問題

と思うが。

で発信をしてほしい

ではないので、連携

健康増進課長 ひとも必要だと思う 考えています。 わせて対応したいと 助基準の見直しに合 通院の減免はぜ 国の補

市長 いと考えています。 現状を維持した

介護保険課長

八月を

学校教育課長

今年度

は。

があった場合の適用

保護基準の引き下げ すが、八月から生活 準額の一・二五倍で 象は、生活保護費基

で実施し、来年度以 で、介護保険は一 応したいと考えてい を受けないように対 降もできるだけ影響 は現行どおりの基準 二五倍になっている 三倍、就学援助は一

ます。

同じ行政の

健康増進課窓口

青木孝子議員 (日本共産党)

保健事業について

対策は。 率と、未受診者への 乳幼児健診の受診

年度の実績では、 指導に努めていま 施し、母子への健康 診八十九・九%です。 九十五・五%、一歳 力月児健診九十七・ 健師が訪問指導を実 三・九%、三歳児健 八%、七力月児健診 六カ月児健診九十 未受診者には、保 ጢ

議員 特定健康診査の 推移は。 対象者数と受診率の

す。

健康增進課長 約二十四%程度で 三年度は二十三・ 四%、二十四年度は <u>_</u> 十

健康増進課長 議員 未受診者への働 受診者訪問、 師、栄養士による未 きかけは。 、地域へ 健

> の健康 考えています。 施の体制の充実、 療機関等の連携を重 点的に実施したいと 講座、 健診 医

> > ないような形で、 用者の負担が増加 ジメントにより、 スメント及びマネ

生

議員 市長 検討したいと考 えています。 置を図るべきでは。 は、保健師の増員配 層の強化のために 保健予防活動の

保健福祉部長 二十四

保健センター

介護保険制度について

調査を行い、改善を 助の時間が短縮され 険制度の改悪で、訪 問介護の際の生活援 図るべきでは。 た。影響などの実態 昨年四月の介護保

保健福祉部長 正かつ効率的なアセ ありません。 査を実施する予定は ただし、今後も適 実態調

小中学校のエアコ ています。 供に努めたいと考え 活援助のサービス提

置について ン設

か。 うに認識しているの ると思うが、どのよ から二十八度、冬が 温度は夏が二十五度 余りにも乖離してい なっていて、現実は 十八度から二十度と 教室の望ましい

教育長 です。 は非常に難しい状況 予算を確保すること エアコンを設置する 全小中学校に

アコン未設置を解消 アコンを設置する計 小学校の図書室にエ て、今年度は中間西 したいと考えて まず、図書室のエ

宮下寛議 (日本共産党)

コミュニティバス実施 で、コミュニティバ 市長は記者会見

だ結論は出ていませ 討をしています。ま 変だと実感していま 等をしっかりやらな れば、あの坂道対策 んが、私の思いとす バス導入検討会で検 しているのか。 ういう形で行おうと れたが、具体的にど スを実現すると言わ いと、お年寄りは大 コミュニティ 市長

議員 これまでも市長 うなお話があるので はコミュニティバス いただきました。 な思いを述べさせて も込めて、そのよう はないかという思い で、地域からそのよ ていただいているの 校区単位で立ち上げ 協議会や防災組織を

> それをもう少し具体 なりかねないと思う たか」ということに 市民にとっては「ま ような方向という 的な形でリードする かんと言われるが ない。やらなきゃい が出てこないと

討会で一度しっかり がら、また私の強い います。 ただきたいと考えて めて、やはり導入検 思いということも含 の意見等も尊重しな ある議員の皆さま方 した協議をさせてい 市民の代表者で



遠賀町のコミュニティバス

市長 制度の趣旨は理

解しています。今後

いろんな情報収集を

しながら検討したい

と考えています。

はやらないとは言わ 公契約について

市長 も未公表にしていま 公表を事前、事後と は、最低制限価格の みをされたのか。 後、どういう取り組 取り上げたが、その 条例について議会で 二年半前、公契約 建設業において

じています。 で、そのような競争 等を生んでしまうの 目指しての過当競争 を抑制する措置は講 公表すると、それを

最低制限価格

を

なると思うが。 うことは、中間市が 約条例をつくるとい 年四月に予定されて 契約条例の施行が来 う姿勢を示すことに いる。中間市が公契 くっていかないとい ワーキングプアをつ 直方市では、公

校区まちづくり

中間市立病院の建て替 佐々木晴一議員 (中間クラブ)

えについて

と考えています。 化のためにも、私も 建て替えが望ましい 端医療の導入や耐震 経営の改善や最先

います。

ではないかと考えて

の目標を達成するの どのようにして三つ たが、いつまでに 率百%、病床利用率 率百%、医業収支比 百%という回答でし 市長は経常収支比 についての質問に、 で、建て替えの基準 昨年の九月議会

市長 等については、議会 行っています。 考えています。 がら検討をしたいと と十分に協議をしな な時期、今後の計画 改善に向かう努力を すが、少しでも経営 建て替えの具体的 難しい数字で

> 限も与えるようです 織に改めて、調査権

が、その調査権限の

中鶴地区の住環境につ

ていません。 宅は、築年数が古く 耐震基準には対応し 耐震強度的にも今の 中鶴地区の公営住

うに中鶴地区を改革 安を抱えています。 ゆえに、子どもを持 不足や、若い世代の つ世帯は、いつも不 力団事務所があるが る。何より、近隣に暴 備があると思われ ための駐車場にも不 入居者に対する設備 していくのか。 具体的に、どのよ また、高齢化した

組事務所に移転して 準に基づき、市の施 もらう方法は考えて と考えています。 ティーに富んだ市営 策に応じた、バラエ 住宅に建て替えたい 中鶴地区の極政 市営住宅整備基

営住宅を、あの位置 階建ての店舗付き市 危険度の高い五

いるのか。

きには解消できるの に建て替えというこ けないので、そのと 願いをしなければ うことで、移転のお 替えの支障物件とい 所も、市営住宅建 とになれば、

中鶴地区の市営住宅

職員の不祥事に対する

網紀粛正について ンス委員会という組 中間市コンプライア 職員倫理審査会を

総務部長 容については、今後、 具体的に検討しま 範囲は。 調査権の内

、組事務

藤 本利彦議 (新創会)

生活保護費不正受給事 警察に押収された

休健福祉部長 れていません。 関係書類は返還され 業務に支障は出 返還さ

日より配属された

者面接員を四月一 策として、新規申請 正受給の再発防止

生活支援課に不

ている。これはどう が、五月末で退職し

いうことか。

ていないのか。

生活支援課長 押収さ 帳はコピーをとっ おり、電話による問 をコピーをとって れた保護台帳に関 い合わせを十数回 しては、一年分程度 ています。廃止台 ので、折 市長 本人の事情によ います。 討したいと考えて り、退職願が急に出 なので、しっかり検 専門性の高い部分 たいと思いますが、 ては早急に対応し ました。後任につい

りません」と言わ 夏のボーナスは要 三名の免職も発表 れ、職員については 七月分の給料及び よいのか。 とったと理解 もその日に責任を 五月三十一日付で たが、市長自身 市長は、「六月、

障が出ないように

現場の業務に支

てもらいたい。

かっています。 という手間暇は て台帳を確認する

か

ていない

察署に出向い

が、返還できないと いう回答でした。 出は行 何度 ŧ () 返 ました $\widetilde{\mathcal{O}}$ 申

という意識でい

ま

私に対する懲戒

ています。 がきっちり最後まで が私の使命だと考え 全力で取り組むこと の信頼回復のために のような事件を、 決着をつけ、市民へ 私の代で起きたこ

議員 ものではない。 墜させた市長 に九回もの不祥事 げて済むほど軽い て重く、職員を処分 治的責任はきわめ の信頼を著 を繰り返し、市政へ 二期八年の 自身の給料を下 の政失



新聞記事

生活保護費不正受給事 原 田隆博議員 (新創会)

の市民の皆様に対し で見られている多く 部のテレビモニター る、それからまた、外 に来ていただいてい 見られている、傍聴 なく、挨拶もなく、そ 民の方にはおわびも をされましたが、た 議員に対しては、お ことだと思います。 た。私は、大変残念な れで始まってしまっ くさんの傍聴者の市 わびの言葉と挨拶 議会で、市長は冒頭、 多くの市民の方が きのうの全員協

に残念です。 なと、その辺が非常 その点について、

という強い認識 持っています。 さんが市民の代 市長の気持ちは。 私どもは、議員 を 表

保健福祉部長

警察に

市長

責任というよ

めに努力はされたの

類を戻してもらうた

日も早く関係書

ています。 なかったということ は の皆様方におわび由 ニターを通じて市民 聴席、また、テレビモ げましたけども、 おわびは冒頭申し し上げることができ 本当に反省をし 議員さん方への 然、その ょ

をしています。 監督責任を十分痛感 ことに対して、管理 も逮捕されるという 今回このように三名 れると思いますが、 ておられる方がおら 不祥事が起きました テレビモニターで見 改めて、きょうも

ざいませんでした。 おわびを申し上げま 対して、心より深く 本当に申しわけご 市民の皆さま方に

ができなかったのか

て、一言何でおわび



新聞記事



ています。

市長の選挙公約

真意は。

されていたが、この するか考える」と話 ら対応とか、再提出 長は「状況を見なが 者の取材に対し、 正案可決後、新聞 を全額カットする修 四千九百八十八万円

市長

否決された

るかも含めて検討 人するのが最適であ ある人材を探してい

病院経営にも経験の

る段階です。具体的

市

にどのような形で導

草 場 満彦議員 (公明党)

態について 中間市立病院の経営形

長 望ましいとあった。 期に移行することが 業法の全部適用に早 ついては地方公営企 市長のお考えは。 中で、経営形態に 有識者会議の答由 現在、医療にも

市長の市な 政

相撲道場の整備費 運営の姿勢



中間市立病院

総務部長

一つ目は

ているのか。 ような取り組み 究明のために、ど

を

ては、 など、庁内における 織体制の確立や内部 職員の意識改革、組 員として委嘱をし、 の有識者を新たな委 も検討しています。 取り組んでいくこと のある再発防止策に ています。また、専門 **職員が点検調査をし** 三月十八日に設置し いての審議を進め 推進や再発防止につ チェック機能の強化 会で、弁護士等外部 完成度の高い実効性 会を立ち上げ、より 冢による第三者委員 在三十四名の係長級 給調査委員会で、現 コンプライアンスの た生活保護費不正受 二つ目の対策とし 、職員倫理審査

件について 生活保護費不正受給事

事件の真相と原因

ではありません。 決定したということ のルールですので、 るというのが、一つ 市長

議会にお諮りす

たいという思いはあ クリアして再提出し

)ます。

るが、建て替えは決 替えを公言されてい り、公の場でも建て 替えが明記されてあ の中に市立病院建て

> 否決された理由の 話がありますので 由の中に相撲人口の

つ、二つはしっかり

定事項なのか。

□ 市議会会議録は閲覧ができます。

市議会だよりは、本会議の質問や答弁を要約して掲載していますので、詳しい内容は、 会議録をご覧ください。会議録は、議会事務局や情報公開コーナー、市民図書館で 閲覧することができます。また、中間市のホームページにも会議録を掲載しています。

□ 議会の生中継を公共施設で行っています。

議会が中継される施設

ハピネスなかま、中央公民館、なかまハーモニーホール、地域交流センター、市立病院 ※市立病院での視聴は、病院利用者以外の方はご遠慮ください。

□次の定例会は、9月3日(火)から開催します。

議員の一般質問は9月5日休午前10時から行います。 本会議及び委員会の日程は決まり次第、中間市のホームページに掲載します。

問合先:議会事務局 ☎246-6220 ▶ http://www.city.nakama.lg.jp

7月臨時会で各常任委員長が報告した審査内容の

部を掲載します。

中

に関する条例 今回の改正 は 玉)特例

> 団地百八 九号線、

、十四号線の三

ф

ノ谷九号線、通谷

全員賛成で可決しました。

問 市職員等の給与の

となっています。 り組みを推進して

全員賛成で可決しました。

市道路線の認定につい

て

認定する路線は、新土手十

その他」

会議を設置して、具体的な取

()

< 2 2

来年三月までの間、 給与減額支給措置に準じ、 福岡県と 家公務員

D政策委 の

を改正する条例 中間市職員倫理条例 部

アンス体制の再構築を図る 発防止と、庁内のコンプライ ことを目的としています。 主 今回の改正は、 理」よりも幅広い意味を な改正内容としては 、不祥. 事 \bigcirc

すること、 任期を二年から三年に延長 る事項を加えること、委員の 掌事項に「公益通報」に関す 含む「コンプライアンス」と たに庁内コンプライアンス ンプライアンス委員会の所 いう用語を用いることや、コ そして、庁内に新

ることに伴うものです。 一水準の減額 措置を実施

d

のです。 ら四・七七%、管理職手当の 額及び期末手当の二十%、副 職についても、市長は給与月 十%をそれぞれ減額し、特別 市長は十五%、教育長は同 じ、給料月額の九・七七%か 一%をそれぞれ減額する 般職の職員は、役職に応

影響も大きいことが予想さ は国による地方自治への から「地方公務員給与の減額 意見がありました。 れるため反対である」という 入であり、地域経済へ与える なお、討論に 賛成多数で可決しました。 おいて、 委員 介

パソコンやスマートフォンで 議会が視聴できます。

市議会では、従来の公共施設での生中継に加えて、市民の皆さんがご自宅等で、 いつでも議会の様子がご覧になれるよう、インターネットを利用した、

「中間市議会録画中継チャンネル」の配信を始めました。

中間市のホームページから



中間市

をクリックして、



中間市議会 You Tube 録画中継チャンネル ここをクリックしてください。

中間市議会で行われた過去の会

をクリックすると、

6月4日以降の本会議及び議場で行われた会議が ご覧になれます。

なお、YouTube 上で配信している録画中継の映像 及び音声等は、中間市議会の公式記録ではありま せん。公式記録については、会議録をご覧ください。



6月定例会で議決された議案

市長提出議案					
議案番号	件名	議決結果			
同意案第1号	監査委員の選任について	不同意			
承認第 4 号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (中間市市税条例の一部を改正する条例)	承 認			
承認第 5 号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (中間市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承 認			
承認第 6 号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (中間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承 認			
承認第 7 号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (損害賠償の額を定め、和解することについて)	承 認			
承認第 8 号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (中間市特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例)	承 認			

7月臨時会で議決された議案

市長提出議案					
議案番号	件名	議決結果			
同意案第2号	監査委員の選任について	同 意			
承認第 9 号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (平成25年度中間市一般会計補正予算(第1号))	承 認			
承認第10号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (平成25年度中間市特別会計国民健康保険事業補正予算(第1号))	承 認			
承認第11号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (平成25年度中間市住宅新築資金等特別会計補正予算(第1号))	承 認			
第38号議案	中間市職員倫理条例の一部を改正する条例	原案可決			
第39号議案	中間市職員等の給与の臨時特例に関する条例	原案可決			
第40号議案	中間市道路線の認定について	原案可決			

有料広告募集のお知らせ

中間市議会では、市議会だより発行のための財源確保を目的として 市議会だよりに有料広告の掲載を行います。

有料広告枠 ①

広告掲載は、中間市と広告掲載業務契約を締結した 広告取扱業者が、市議会だよりなかま広告取扱要綱 に基づいて行います。広告掲載を希望される事業者 の方は、下記までお問い合わせください。

・広告についての申込・問合先 株式会社ホープ ② 092(716)1404

(広告の掲載スペースはこの枠及び右枠の2枠です)

有料広告枠 ②

市議会だよりなかまの概要

- ・発行部数:市内全戸配布(18,700部)及び公共施設
- ・発行回数: 年4回(5・8・11・2月の25日) 広告の掲載は、11月25日号からの予定です。
- ・「市議会だよりなかま」に掲載される広告について、 中間市がその内容を保証するものではありません。